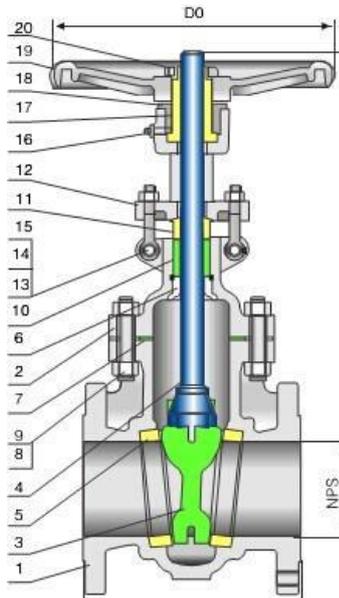


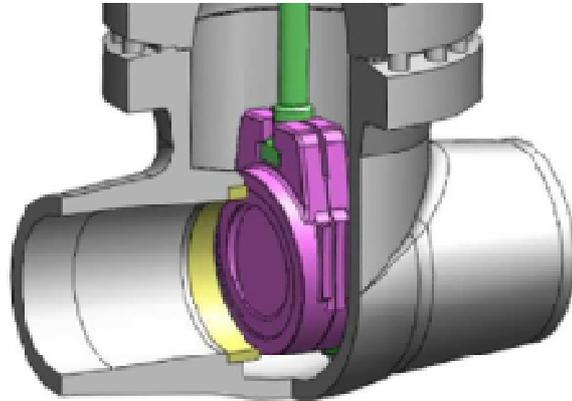
○バルブの種類と特徴

① 仕切弁(ゲートバルブ)

開閉操作に適しており、流量調整には不適。



仕切弁の場合



ステライト盛命部 (弁座部)



FC(鋳鉄製)

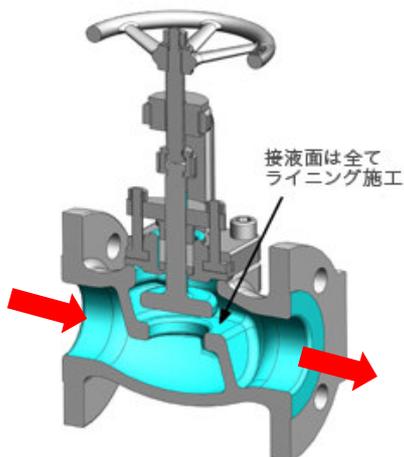


SCS(ステンレス鋳鋼製)



CAC(青銅製)

② 玉形弁(ストップバルブ、グローブバルブ) 流体の流れがS字になり抵抗は大きい。 取付方向が決まっている。 中間開度による流量調整も可能。



ライニング玉形弁

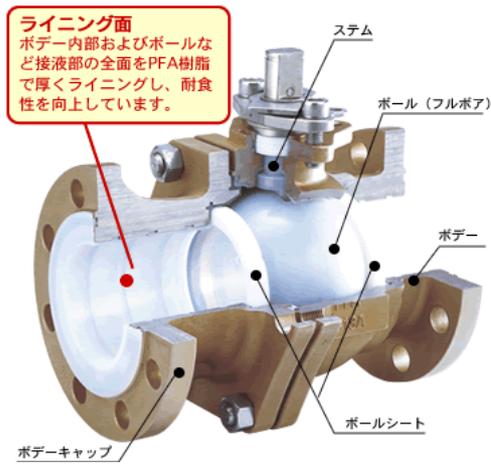


FC(鋳鉄製)



CAC(青銅製)

③ ボールバルブ ボール状のディスクが回転して開閉。中間開度での使用には不適。



ボールバルブ



ボールバルブ(小口径)



ボールバルブ(三方弁)

④ バタフライ弁 ディスクが90度回転することにより開閉操作。中間開度での流量調整も可能。

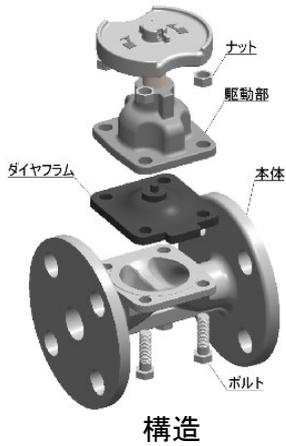


全開



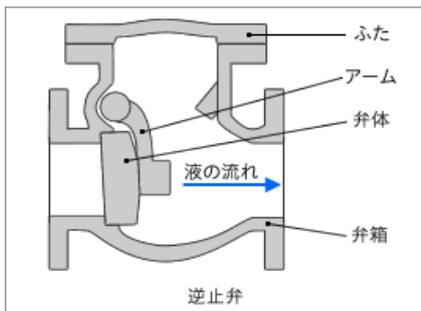
全閉

- ⑤ **ダイヤフラム弁** 弁体に相当するダイヤフラムが弾性体のためシール性に優れている。ダイヤフラムが流体と駆動部を遮蔽しているためグランド部がなく外部への流体の漏れがない。薬品の配管に、よく使われている。「ダイヤフラム」とは金属やゴム等の弾性薄膜のことを言う。

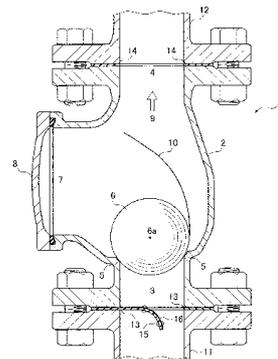


ダイヤフラム弁 (PVC)
※ PVC : polyvinyl chloride

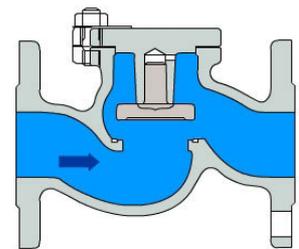
- ⑥ **逆止弁** 逆流を防止するバルブ。取付方向に制約があり、横向きでは使えないものもある。



スイング式



ボール式



リフト式



スイング式



ボール式 (ナイロンコーティング)



リフト式



スイング式



ボール式 (内部の構造)
2-7



リフト式 (ショックレスタイプ)